

評価設問 【教】：教職員 【保】：保護者 □：改善等		評定 (点、%)	平均点 80点未満	AB% (肯定的)	CD% (否定的 10%以上 色)	分から ない (10%以上 色)	R6評価AB (%)	R4評価AB (%)	
y o u	<p>【教】私は、教育方針（学校経営計画、教育目標、目指す児童・生徒像など）について、保護者に丁寧に説明し、内容を理解してもらうことができた。</p> <p>【保】教育方針（学校経営計画、教育目標、目指す児童・生徒像など）について学校から説明を受け、内容を理解することができた。</p> <p>■教職員による、学校学部学科目標と各教科との関連（指導根拠）の理解と繰り返しの説明</p> <p><b>教務部、学部学科主任、担任（主・副共）、各授業担当者</b></p>	教肢	69	84	16	0	87	91	
		教就	76	89	11	0			
		小	97	100	0	0	93	分らない 2名	92
		中	88	100	0	0			
		高	100	100	0	0			
		就1	85	87	9	4			
		就2	91	96	4	0			
就3	91	94	6	0					
②	<p>【教】私は、教育活動を進める際、保護者と連携することができた。</p> <p>【保】学校は、保護者と連携して教育活動を進めていると感じた。</p> <p>■指導計画作成の際の保護者との共有。面談時の共有を確実に。学習状況の共有、成長や課題の共有、連携をとり、改善策等の共有等連携を密に行う。卒業学年は特に、進路情報や流れ、卒後も含めて情報を密にする。</p> <p><b>進路指導部、研修・研究部、学部学科主任、担任（主・副共）</b></p>	教肢	74	82	18	0	85	87	
		教就	78	88	12	0			
		小	100	100	0	0	91	分らない 1名	—
		中	88	100	0	0			
		高	100	100	0	0			
		就1	87	92	6	2			
		就2	86	96	4	0			
就3	82	84	16	0					
③	<p>【教】私は、専門性を発揮し、児童・生徒の実態に応じた教育を丁寧に行ってきた。</p> <p>【保】学校は、児童・生徒の実態に応じた教育を丁寧に行っていると感じた。</p> <p>■引き続き個に応じた丁寧な支援の継続。特支の専門性の共有と引継ぎ。3観点を押さえた目標と評価の作成。観点別学習状況の評価による授業と評価の一体化を行いながら、教科等横断的な取組等を通した主体的・対話的で深い学びの実現を継続。卒業学年は適切な実習先、実習評価と学校生活上の課題の共有等連携を密にする。</p> <p><b>教務部、進路指導部、学部学科主任、全教職員</b></p>	教肢	80	91	9	0	93	89	
		教就	85	96	4	0			
		小	97	100	0	0	91	分らない 3名	—
		中	92	100	0	0			
		高	100	100	0	0			
		就1	89	89	5	6			
		就2	84	92	8	0			
就3	84	89	11	0					
④	<p>【教】私は、児童・生徒の人権を大切に、いじめや体罰の防止に努めた。</p> <p>【保】学校は、児童・生徒の人権を大切にしていると感じた。</p> <p>■引き続き児童・生徒の人権尊重を徹底し、組織的に人権教育を徹底する。</p> <p><b>管理職、学部・学科主任、全教職員</b></p>	教肢	96	98	2	0	99	90	
		教就	94	100	0	0			
		小	97	100	0	0	91	分らない 5名	86
		中	83	100	0	0			
		高	100	100	0	0			
		就1	91	90	2	8			
		就2	85	90	8	2			
就3	88	92	6	2					
⑤	<p>【教】私は、保護者が相談をしたり、要望を出したりしやすいようにコミュニケーションの充実を努めた。</p> <p>【保】担任などに対して、相談をしたり、要望を出しやすいと感じた。</p> <p>■面談等で保護者と直接かかわらない教職員を含め、日ごろから挨拶や言葉掛け等の意識を徹底し、接遇や接客についての意識を徹底する。同時に、コミュニケーション能力向上に向け、対応力研修等を実施する。</p> <p><b>研修・研究部、学部学科主任、全教職員</b></p>	教肢	80	86	14	0	91	90	
		教就	84	94	6	0			
		小	94	100	0	0	84	分らない 3名	94
		中	79	83	17	0			
		高	100	100	0	0			
		就1	80	77	17	6			
		就2	85	91	9	0			
就3	84	84	14	2					
⑥	<p>【教】私は、保護者などに対して電話や窓口での対応を丁寧に行うよう努めた。</p> <p>【保】担任などに対して、相談をしたり、要望を出しやすいと感じた。</p> <p>■面談等で保護者と直接かかわらない教職員を含め、電話や窓口での対応を主体的に行うこと。日ごろから挨拶や言葉掛け等の意識を徹底し、コミュニケーションの一つである接遇や接客についての意識を更に徹底する。</p> <p><b>研修・研究部、学部学科主任、全教職員</b></p>	教肢	85	89	11	0	94	91	
		教就	92	98	2	0			
		小	94	100	0	0	95	88	
		中	92	100	0	0			
		高	100	100	0	0			
		就1	94	100	0	0			
		就2	86	92	8	0			
就3	86	86	14	0					
⑦	<p>【教】私は、児童・生徒の「学校生活支援シート（個別的教育支援計画）」や「個別指導計画」について、保護者に丁寧に説明し、内容を理解してもらうことができた。</p> <p>【保】子どもの「学校生活支援シート（個別的教育支援計画）」や、「個別指導計画」について、学校から説明を受け、内容を理解することができた。</p> <p>■できるだけ面談等では全教員が参加できるようにし、目標と評価の説明、観点別学習状況の評価による授業と評価の一体化や教科等横断的な取組等を通した主体的・対話的で深い学びの支援方法を説明できるようにする。</p> <p><b>教務部、相談支援部、進路指導部、学部学科主任、全教員</b></p>	教肢	73	84	16	0	85	90	
		教就	72	86	14	0			
		小	97	100	0	0	95	91	
		中	92	100	0	0			
		高	100	100	0	0			
		就1	90	100	0	0			
		就2	84	88	12	0			
就3	87	92	8	0					
⑧	<p>【教】本校の行事（入学式、卒業式、社会見学、移動教室、修学旅行、青峰フェスタなど）は、児童・生徒の実態に合っていると考える。</p> <p>【保】学校の行事（入学式、卒業式、社会見学、移動教室、修学旅行、青峰フェスタなど）は、児童・生徒の実態に合っていると感じた。</p> <p>■行事の事前計画と事前事後学習の充実。何のために何を学び何が身に付くのかを明確に示し、その成果を教科等横断的な取組等を通してきちんと記録し、保護者への報告を行う。青峰フェスタは両部門の一体化として大切にしている。</p> <p><b>教務部、学部学科主任、全教員</b></p>	教肢	85	94	6	0	96	90	
		教就	85	98	2	0			
		小	97	100	0	0	87	分らない 5名	83
		中	85	67	17	16			
		高	90	100	0	0			
		就1	84	84	6	10			
		就2	85	92	8	0			
就3	81	89	11	0					

評価設問 【教】:教職員 【保】:保護者 □:改善等	評定 (点、%)	平均点 80点未満色	AB% (肯定的)	CD% (否定的 10%以上 色)	分から ない (10%以上 色)	R5評価AB (%)	R4類似 評価AB (%)
⑨ 【教】本校の相談機能（教育相談、健康・保健相談、進路相談など）は充実し、利用しやすいと考える。 【保】学校の相談機能（教育相談、健康・保健・心理相談、進路相談など）は、充実していると感じた。 □相談機能の特色や成果を明確に分かりやすくして、保護者にお知らせする。相談機能の利用の仕方や、日々の学習活動や生活との関係性を教職員全体に周知徹底する。相談支援部、進路指導部、保健給食部、学部学科主任、全教職員	教肢	84	97	3	0	94	90
	教就	83	92	8	0		
	小	88	63	13	24	85	86
	中	90	83	0	17		
	高	100	100	0	0		
	就1	88	86	0	14		
	就2	82	92	8	0		
就3	88	87	5	8	分らない 11名		
⑩ 【教】本校の進路指導に関する取組（面談、進路講演会、職場見学やインターンシップ、現場実習など）をとおして、児童・生徒、保護者の進路選択に関する意識を高めることができたと思う。 【保】進路指導に関する取組（面談、進路講演会、職場見学やインターンシップ、現場実習など）をとおして、児童・生徒、保護者の進路選択に関する意識が高まったと感じた。 □将来の生活の質をの向上を目指した進路情報の提供。進路経験による到達点や評価と、日々の生活、授業との関連性を明確に提示する。進路指導部、相談支援部、学部学科主任、全教職員	教肢	74	89	11	0	91	90
	教就	83	94	6	0		
	小	83	63	13	24	84	86
	中	88	66	0	33		
	高	100	100	0	0		
	就1	84	83	8	9		
	就2	88	92	8	0		
就3	86	90	10	0	分らない 7名		
⑪ 【教】本校は、児童・生徒の健康や安全、命を守るために必要な指導を十分に行っていると考える。 【保】学校は、児童・生徒の健康や安全、命を守るために必要な指導を行っていると感じた。 ※月1回の安全指導日、アレルギー対策、避難訓練、防犯訓練、セーフティ教室等 □引き続き児童・生徒の人権尊重の徹底とともに、命を適切に守る指導や支援、危機管理意識、自他の適切な指導の徹底。管理職、生活指導部、学部学科主任、全教職員	教肢	92	100	0	0	100	93
	教就	93	100	0	0		
	小	94	100	0	0	93	86
	中	92	100	0	0		
	高	100	100	0	0		
	就1	89	88	4	8		
	就2	88	92	8	0		
就3	90	97	3	0	分らない 3名		
⑫ 【教】私は、保護者、児童・生徒に、学校生活のきまり（生徒心得など）を丁寧に説明し、内容を理解してもらうことができた。 【保】学校生活のきまり（生徒心得など）について学校から説明があり、家庭でも活用している。 □段階や必要に応じた、生活のきまりの作成や周知。就業技術科においては社会人、就労する上での法律や規則の遵守の必要性と、学校生活の決まりとのつながりを担任が確実に理解し、明確に示していく。生活指導部、学科主任、学年主任、全教職員	教肢	73	84	16	0	89	93
	教就	78	92	8	0		
	小	81	38	12	50	82	—
	中	69	50	17	33		
	高	75	67	0	33		
	就1	82	92	6	2		
	就2	78	83	17	0		
就3	81	87	11	2	分らない 7名		
⑬ 【教】本校は、ホームページやX（旧twitter）を使った情報発信を積極的に行っていると考える。 【保】学校は、ホームページやX（旧twitter）を使った情報発信を積極的に行っていると感じた。 □引き続き必要で正確な情報の即時更新や、学習の様子等を発信する。同時に、情報の内容を分かりやすく、学校としての特色のあるものにする。 管理職、ICT 管理部	教肢	89	98	2	0	97	89
	教就	84	96	4	0		
	小	80	50	12	38	77	76
	中	85	67	17	16		
	高	90	33	33	33		
	就1	78	79	13	8		
	就2	79	84	12	4		
就3	83	84	8	8	分らない 12名		
⑭ 【教】私は、児童・生徒の安全のために、施設（教室、体育館、校庭、プールなど）の整理整頓に努めた。 【保】学校は、児童・生徒の安全のために、施設（教室、体育館、校庭、プールなど）の整理整頓を徹底していると感じた。 □引き続き、整理・整頓・清潔・清掃の徹底。 管理職、全教職員	教肢	91	100	0	0	97	91
	教就	82	96	4	0		
	小	97	100	0	0	91	95
	中	92	100	0	0		
	高	100	100	0	0		
	就1	93	85	2	13		
	就2	86	88	4	8		
就3	92	97	0	3	分らない 7名		

評価設問 【教】：教職員 【保】：保護者 □：改善等		評定 (点、%)	平均点 80点未満色	AB% (肯定的)	CD% (否定的 10%以上 色)	分から ない (10%以上 色)	R6評価AB (%)	R4類似 評価AB (%)
⑮	<p>【教】私は、保護者などの意見を受けとめ、改善に努めたと考える。</p> <p>【保】学校は、保護者などの意見を受けとめ、改善に努めようとする姿勢があると感じた。</p> <p>■保護者意見の教職員間での迅速な共有。生徒、保護者対応や改善等情報共有の徹底。</p>	教肢	80	89	11	0	94	89
		教就	86	98	2	0		
		小	97	100	0	0	90	57
		中	95	84	0	16		
		高	100	100	0	0		
		就1	89	90	2	8		
		就2	89	88	4	8		
就3	86	92	8	0	分らない 6名			
⑯	<p>【教】本校は、国や東京都の方針に基づいて、教職員の働き方改革を積極的に進めていると考える。</p> <p>【保】学校は、国や東京都の方針に基づいて、教職員の働き方改革を進めていると感じた。</p> <p>■就業技術科教員評価がずば抜けて低い。人事、体制レベルからの改善が喫緊に必須。保護者には不適切な設問。 管理職</p>	教肢	79	91	9	0	74	75
		教就	57	59	41	0		
		小	65	38	25	37	74	—
		中	90	83	0	17		
		高	100	100	0	0		
		就1	81	71	10	19		
		就2	80	75	13	12		
就3	85	81	5	14	分らない 18名			